

## ナガハグサ (長葉草)

名前の意味<sup>いみ</sup>：葉が長い草の意味。

分類：単子葉類、イネ科、イチゴツナギ属

(イネ科の栽培植物<sup>さいばいしょくぶつ</sup>：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、庭

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ヨーロッパ原産

特徴：細長い葉、緑色の小さな花

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚 (小さくて目で見てもよくわからない)、<sup>りべん</sup>離弁

花の時期：4—5月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：ミゾイチゴツナギとは、<sup>かじょ</sup>花序 (花の集まり) の<sup>えだ た</sup>枝が垂れないことで、区別できる。スズメノカタビラは全体が小さい。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度 ★★★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)